

# アルゼンチン共和国

(Argentine Republic)

## I 概要

1. 人口	4,298 万人 (2014 年)	5. 1 人当たり国内総生産 (GDP)	14,160 ドル (2014 年)
2. 面積	278 万平方キロメートル (日本の約 7.5 倍)	6. 首都	ブエノスアイレス
3. 政治体制	立憲共和制	7. 通貨単位	ペソ
4. 言語	スペイン語		

《出典》外務省ウェブサイト (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/argentine/data.html>) (更新日: 2016 年 10 月 18 日)。

## II 教育の普及状況

教育段階	年	在籍率	性別	
			男	女
就学前教育	2013 年	72%	71%	72%
初等教育	〃	111%	111%	110%
中等教育	〃	106%	102%	110%
高等教育	〃	80%	62%	99%

(通常の年齢よりも早い又は遅い入学や留年等を理由とする該当年齢以外の在籍者を含む)

## III 教育行政制度

アルゼンチンは 23 の州及びブエノスアイレス市から成る連邦国家である。連邦政府の教育行政機関として教育スポーツ省が置かれており、教育計画や教育課程、教員養成のほか、大学や専門大学の設置認可を所管している。各州には州教育省（ブエノスアイレス市は市教育庁）が置かれており、初等中等教育及び非大学型高等教育機関に関する権限を持つ。このほか、連邦と各州の教育行政の調整を図るため連邦教育審議会が設置されている。

## IV 学校体系

(学年暦：3月～11月)

2006年の国民教育法により、義務教育期間が就学前教育段階である5歳を含む13年間となった。また、同法により初等中等教育段階の学校制度を新たに6-6制とするか、従来の7-5制のままとするかは各州で決めることとなった。このため、現在、国内に2つの学校制度が並存している。

### 1. 就学前教育

就学前教育は、3～5歳児を対象に、幼稚園で行われる。初等学校入学前の1年間は義務教育となっている。

### 2. 義務教育

義務教育は、5～17歳の13年である。

### 3. 初等教育

初等教育は、6歳入学で6年間又は7年間、初等学校で行われる。

### 4. 中等教育

中等教育は5年制又は6年制の中等学校で行われる。中等学校の最初の3年間（前期中等教育）は基礎課程としてすべての生徒に共通の教育課程が提供される。後半は一般教育課程及び専門技術課程に分かれる。一般教育課程は基礎課程に続く2年間（5年制の場合）又は3年間（6年制の場合）の課程であり、修了者は大学入学資格でもある中等教育修了証を取得する。専門技術課程は一般教育課程よりも1年間長い3年（5年制の場合）又は4年（6年制の場合）の課程であり、修了者は技術士あるいは各種技術証明を取得する。

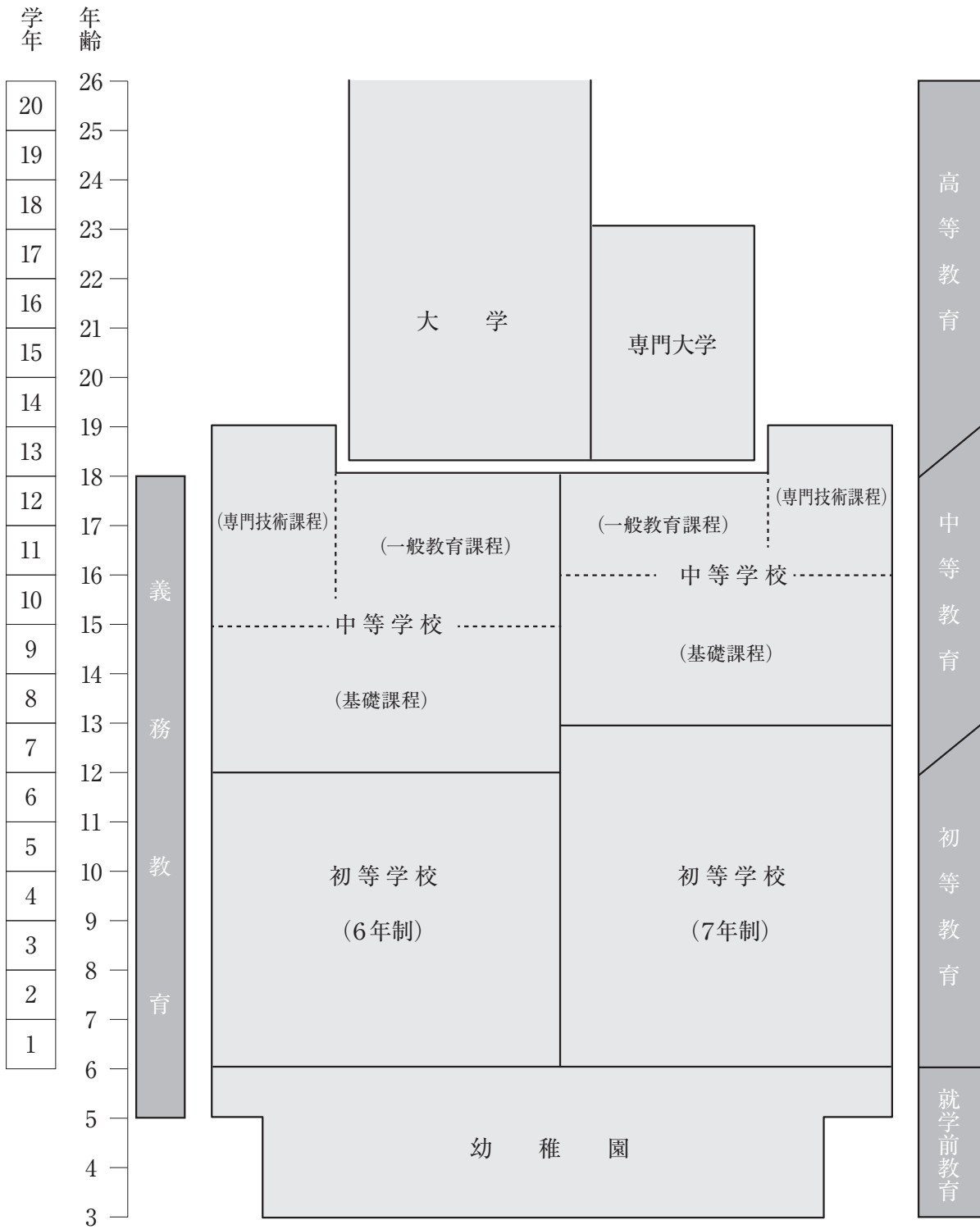
### 5. 高等教育

高等教育は、大学あるいは専門大学で行われる。4～7年の学士課程と、その後1～3年の修士課程と2～6年間の博士課程が置かれている。学士課程の修了者には、専攻分野により学術学士（Licenciado）あるいは「Arquitecto（建築士）」や「Ingeniero（エンジニア）」などの専門学士（Título Profesional）が授与される。修士も同様に学術修士（Maestría Académica）と専門修士（Maestría Profesional）に大別される。博士は学術系の最高学位として授与されるもので、通常、博士論文と口頭試問が課せられる。このほか、学士課程レベルには2年前後の短期課程が、大学院レベルには数ヶ月～4年間の専門資格取得課程が置かれ、それぞれ多様な資格が付与されている。

#### 《参考資料》

- EP-Nuffic, *Education System Argentina: The Argentinian Education System Described and Compared with the Dutch System*, Dec. 2013 (2015年1月更新版).
- Ministry of Education, *Education Evolution: National Report of Argentina 2004-2008*, Argentina Republic, Nov.2008.

### V 学校系統図



VI 取得可能な資格・学位

